

成東駅前での交流のあり方検討がスタートしました！

平成26年10月19日(日)に、平成26年度 第3回まちづくり協議会を開催しました。

当日は19名の会員に出席いただき、成東駅前の観光案内所の現状と、県内他都市の観光案内所の動向について、関係者や専門家にお話を伺い、議論を行いました。

また、県内及び周辺の観光案内所の事例を参考に、視察先の選定を行いました。



1 現在の成東駅前の観光案内所が担っている役割と特徴について

成東駅前に設置されている観光案内所「わが街ご案内処」の役割と特徴について、NPO法人 山武市観光協会 秋葉会長（まちづくり協議会常任委員）にご説明いただきました。



運営体制

NPO法人山武市観光協会が
事務局、観光案内窓口を行っています

案内所の機能

【案内業務】道案内、観光施設案内、宿泊案内、体験案内、グルメ案内など
【観光情報発信】HP、パンフレットによる情報提供
【一時待ち合い】いちご狩り送迎、宿泊施設送迎
【その他】観光PR/イベント、観光案内・コーディネート/ツアー協力等

利用者の特徴

【市民】病院、花屋など生活圏域に関する道案内が多い
【来訪者】冬～春：イチゴ狩り 夏：海水浴 秋：比較的少ない
【利用者の交通手段】
いちご狩り：車が多いが、電車の場合は送迎車利用も多い
海水浴：車が圧倒的に多い。

観光案内所の利用者数（来所、電話）

《総件数》		(単位:件数)					
月別	イチゴ関係	海関係	宿泊施設	パンフ郵送	交通案内 (その他含む)	その他の 観光等	計
H25年 4月	859	11	6	93	189	109	1,267
5月	453	12	17	108	199	100	889
6月	20	15	15	99	207	69	425
7月	9	158	21	102	234	78	602
8月	8	257	28	105	248	105	751
9月	28	17	8	98	209	80	440
10月	29	1	5	89	207	65	396
11月	63	1	11	114	224	53	466
12月	200	2	11	90	225	30	558
H26年 1月	1,096	1	6	125	186	83	1,497
2月	1,262	4	5	107	217	97	1,692
3月	2,223	9	10	154	273	383	3,052
計	6,250	488	143	1,284	2,618	1,252	12,035

観光案内所の利用者（来所、電話対応の総数）は、イチゴ関係が約50%(6,250件)と最も多く占めています。

また、交通案内が約20%(2,618件)、その他の観光案内が10%(1,252件)などとなっています。

前回の協議会でご紹介した事例の補足説明と、事例から見てくる現在の観光交流の動向について、福田百合さん（（一財）都市みらい推進機構UIT事務局、元 館山市観光協会）に、ご説明いただきました。

①観光案内所で一般的に求められる機能

- ・観光情報収集
- ・体験案内、施設／見学先案内、散策案内等
- ・宿泊案内／斡旋、交通案内
- ・手荷物一時預かり
- ・名産品、土産物紹介、販売 など

②近年取り入れられた、今後求められる案内所の新たな機能（役割）について

ア.運営サイドで求められるようになった事項

- ・官民連携による運営体制
- ・ボランティア団体、各種団体との連携
- ・財源の確保
- ・人材の確保

一人の力ではやれることに限界があるので、多くの人が参画できるような運営を行っています。

イ.来訪者向けに求められるようになった事項

- ・個人旅行相談窓口、コンシェルジュ、旅行ガイド
- ・体験型観光（地元の人とのふれあいや、その土地ならではの体験を提案）
- ・無線LAN利用などの情報収集機能
- ・レンタサイクル
- ・商農工連携
- ・鉄道、バス会社との連携
- ・近隣市町村を含む広域案内（周遊プラン）
- ・多言語化
- ・フリースペース、カフェスペース など

運営の多様化、機能の多様化が進むなかで、多くの人が（緩やかに）関われる場づくり、仕組みづくりがポイントです。



意見交換を行いました

現在の成東駅前の観光案内所が担っている役割と特徴について

・利用者数の内訳をみると、年間を通じて交通案内やその他の観光案内の利用が行われており、この部分は重要なのではないかと感じた。

・お客様に満足感を持ってもらうことが一番のPRになると感じる。

・イメージを限定するので「観光案内所」という言葉は使わず、柔軟にアイデアを出して交流のあり方を考えると良いと思う。

・成東朝市などの場で地域の魅力などの情報発信を行うなどの方法も考えると、広がりが出てくるのではないかと感じた。

・市内外の人々の交流で市の魅力を広げていくために、まず市内に住む人が山武市のことをもっと知ってもらうことが必要ではないか。

・バスの時刻を見ていた折に、案内所の職員さんが声をかけてくれて積極的で良い印象を持っている。



千葉県内及び他都市の観光交流の動向について

・事例紹介のうち、富津、南房総、松戸の3つが特徴があるのではないかと考えている。

・富津の観光案内所に行ったことがあるが、飲食スペースが主体で、一緒に観光案内を行っているという印象がある。

・南房総市の場合は市町村合併で行政区域が広くなったため、1箇所ですべての地区の観光案内を行うのは難しいのではと考えたことがある。

・南房総市や館山市などでは、自治体と地域観光業者が丸となって観光客を取り入れようとしており、行政側のバックアップも必要だと感じる。

・「九十九里の玄関」をつくるなら、山武市を訪れる観光客だけではパイが小さいため、九十九里浜に面している各市町村をまとめて情報発信できないだろう。

・運営する組織や規模はそれぞれだが、大規模な観光案内所の例をそのまま山武市に持ってくるのは難しいことを意識した方が良いと思う。

・成東駅前場合は、市内及び周辺へ観光客を誘導するための入り口として情報発信基地に専念すると良いと思う。

・視察に行った際に、駅の近くにこういう場を作ったときに自分ならどのように運営するか、どういうことをやってみたいか、利用側として何が欲しいかという視点を持つと良いと思う。

意見交換を行った結果、先進地事例として

「富津市(観光案内所「石の舎」)」、

「南房総市(道の駅とみうら枇杷倶楽部)」、

「松戸市(松戸探検隊ひみつ堂)」の3箇所を視察することになりました。



次回(11月開催予定)は、先進地事例視察を行い、交流のあり方を検討するためのヒントを集めます。

皆様のご意見をお寄せください

成東駅南側のまちづくりについて、皆様のご意見を事務局へお寄せください。

なお、いただいたご意見は、協議会で報告するほか、この協議会ニュースでご紹介させていただく場合がありますので、ご了承ください。

【ご意見送付先】

山武市都市整備課

成東駅南側周辺まちづくり協議会事務局

〒289-1392 山武市殿台296

ファクス: 0475-82-2107

電子メール: toshiseibi@city.sammu.lg.jp

※ファクス、電子メールは共用ですので、宛先をご記入ください。

